

■発行 京都府向日市役所
■編集 秘書課 広報係
■電話 075(931)1111

向日市

おもな記事

- 生活道路づくりを推進(道路特集)
- 保育所運営費が増大(保育行政の実情を探る)
- 詩舞一筋に四十五年(二ページ)
- 結核予防は検診から(春の市民検診の結果)
- 水道料が改定(三ページ)
- 八月のお知らせ(四ページ)



生活道路づくりを推進

道路舗装と改良に取り組む

わたしたちが、毎日、通っている道路。生活に身近な……
 ……ものだけに暮らしにつながる道路整備をと、市では、力……
 ……を入れて取り組んでいます。
 ……八月は、「道路を守る月間」です。それでは、月間に……
 ……ちなで、生活道路に焦点をあててみました。

通学、通勤、買物にと、わたしたちが、なにげなく歩いている道路。市では、これらの生活道路づくりを重点をおき、道路整備を進めています。

急速に都市化した市では、都市機能を果たす公共施設の整備が立ち遅れているのも事実です。そのひとつ、生活関連施設である道路網の整備があげられます。

暮らしに身近な道路環境をよくすることを重点に、思いきった道路整備を推し進めていかなければなりません。

市では、限られた財源の中で、計画的に市民の暮らしにつながる道路整備の充実に、取り組んでいます。千四百二十万円で、市内の

その中で、道路幅員が四メートル以上の延長は、四万六千四百三メートルで、うち三万九千四百四十三メートルを舗装、舗装率は八六パーセントです。

市の道路総延長は、ことし四月一日現在、十萬七千七百七十三メートル、舗装延長は五萬六千七百九十メートル、舗装率は五六パーセントに達しました。

これらの舗装工事に使った事業費は、一億二十四万円で、残りの四萬四千三百八十三メートルは、計画的に工事を進め、整備していきます。

ことしは、道路延長千四百二十万円で、工事費

また、「私道」舗装では、私道補助金を設け、舗装にかかった工事費に対しても補助し、手助けしていきます。

一方、これらの道路舗装のほかに、とくに力を入れているのが、道を広げたりする道路改良です。

ことしも、市内の道路に三千八百八十万円をかけ、近く改良工事にとりかかる予定です。



(暮らしに身近な道路をまず整備)

歩道づくりも

安全施設を増設

交通事故の増加は、道路

の実際とそれを無視した車の無秩序な増加が一番の原因です。

この交通事故から市民を守るため、歩道、ガードレール、カーブミラー、また白線などの交通安全施設を充実していくことが必要です。

市では、子どもたちが安心して通学、また買物できる



(交通安全施設もつぎつぎと)

道路は美しく

きれいなまちに

八月は、「道路を守る月間」。その道路に、紙くすやゴミを捨てるのは、絶対にやめましょう。また、道路に、物を置いたり、自転車やバイクを並べたりしないで、わたしたちの道路を広く使いたしましょう。

道路に紙くすやゴミが散らばっていると、まじ全体がきたないまちに写ります。みんなで、道路を美しくきれいに、広く使い、きれいなまちづくりを推進しましょう。



(歩道づくりを進める)

青少年芸術劇場へのご招待

「昭和49年度青少年芸術劇場」が催されます。この劇場は、青少年に文楽を鑑賞させることで豊かな情操をつちかうことをねらいに催されます。夏休みのひととき、こぞご鑑賞下さい。

- 【とき】 8月22日(木) 午後1時~4時
- 【ところ】 市民会館ホール
- 【入場】 無料
- 【入場資格】 14歳~19歳
- 【申込み】 8月10日までに市民会館へ
- 【主催】 文化庁
- 【共催】 京都府教育委員会・向日市・向日市教育委員会
- 【後援】 京都府
- 【お問い合わせ】 市民会館 932-3166番

- 仮名手本忠臣蔵 三段目 下馬先進物の段・茶の間
 竹田出雲ほかの合作
 殿中忍傷の段
- 新曲 釣女 鶴沢道八作曲・榎茂都
 陸平振付
 (出演者) 義大夫 竹本越路大夫(重要無形文化財保持者)
 ほか/三味線 竹澤弥七(重要無形文化財保持者)ほか/人形 ほか
 解説講師=吉永孝雄(羽衣学園短期大学教授)
 公演団体=財団法人文楽協会

